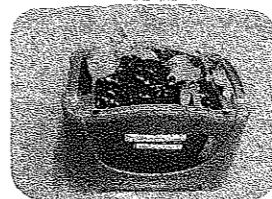


話 話
話 話

「この花
な〜んだ！」



7月8日の午後、桜木2丁目の井内秀典さんから世にも珍しい「宇宙を旅した朝顔」の植え替えをするとの情報が入り、早速会場を覗いてみました。

宇宙を旅した朝顔とは、今年の4月、宇宙飛行士の山崎直子さんが15日間のフライトをされた際に持参された種子の朝顔です。

日本宇宙少年団・ミザール分団（逆井進分団長）で育てられた4本の朝顔は、すくすくと成長していました。写真は、植え替え前の朝顔です。格別変わった朝顔には見えませんが、何しろ宇宙線を浴びた朝顔です。どんな花が咲き、どんな種になるか。これから先の成長は全く未知数です。チョット気になるお話ですね。

「成長に異変」の続報が入れば、お知らせすることにしましょう。



暑さにも負けず

猛暑が続くなか、植物たちも頑張っています。

なかでも、境界フェンスの琉球あさがおは成長も早く、大輪の花をたくさん咲かせます。

花の盛りは、メランポジュームやトレニアで、緑のカーテンも順調に成長しています。



「祭りの一瞬を撮る！」

よさこいを踊る

「カメラアングル」

「祭りに夢中になったところを
ねらっていました」

写真提供者

城2 中岡真二



やきそばを作る

まちづくり 百文字提言

夏まつり実行委員長 佐伯 綱司

昨年は天候不良により中止しました夏祭りも今年は申し分の無い天気にも恵まれました。回を重ねることに来場される方も増え今年も大盛況でした。ご来場くださった皆様、早朝より準備をされたスタッフの皆さん、誠にありがとうございました。

8月 さくらぎカレンダー

- 4日(水) 夏休み子ども教室(料理②)
- 5日(木) 夏休み子ども教室(工作②)
- 16日(月) 公民館事務室お盆休み
- 17日(火) 向道湖福祉農園作業【老連】
- 28日(土) 婦人会バザー (13:00)

暑中お見舞い
申し上げます
職員一同

- 《俳句コーナー》
- 日盛りや 乗客二人の 路線バス
 - 立話 日傘を立てし 乳母車
 - あの人に 独り言いふ 星月夜 (一洋)
 - 里旧家 凌霄花 数誇る
 - 秋の声 棚田一段 づつ登る

【雑記帳】

サッカーのW杯に出場した日本チームは、6月29日の深夜、パラグアイと対戦し120分の死闘を展開しました。テレビの瞬間最高視聴率はなんと63%を記録したそうです。

テレビの映像は、ゲームの一部始終を様々な角度から映し出していました。選手と同じ青いユニホームで「ニッポン！ニッポン！」と叫び続け、顔を日の丸で飾り、肩を組み跳びはねて応援する熱狂的な若者達。日本各地の応援会場は、現地の熱気が伝わる大型スクリーンに溶け込み、選手の動きに一喜一憂し、選手との一体感に酔いしれていました。

PK合戦で決着がついた瞬間、一瞬の「静」の後、感極まってか放心状態になったり、大声で奇声をあげたりで悔しさを表現していました。映像は、こわばった表情と涙を大写しにしていました。

「こんなに夢中になり、感動したことは初めてです。ありがとうございます。」

6年前のさくらぎ3月号で、桜木地区の人づくりとして「乾いた心に汗と涙を注ぎ込みましょう」と問題提議をしました。視聴率63%と言う数値は、何十億・何百億もの「経済効果」が試算されることでしょうか。しかし私には、今の若者の乾いた心に潤いを注ぎ込んだ『教育効果』の方が心に焼きついています。

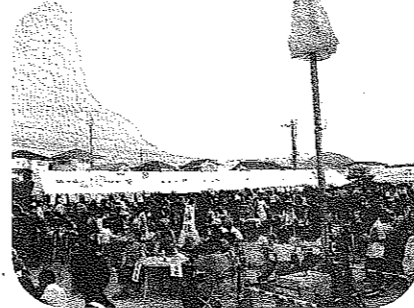
7月の活動記録簿

タイムテーブル

子どもの笑顔が 夏日に映える



やわらかな光が 人々を主役にする



祭りの熱気 夜空をこがす



7/25 桜木地区ふれあい夏祭り (参加者 3,000人)



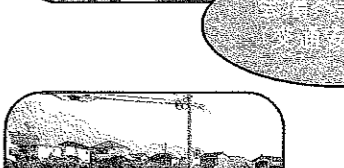
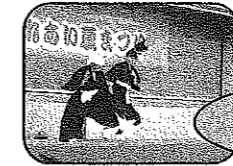
児童コーラス



大学生お手伝いに参加



子どもクイズ



バンド演奏



ゴミの種分け (環境部)

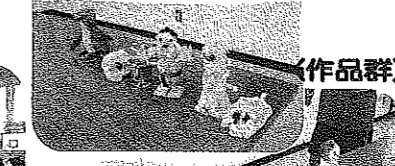


飛び入りダンサー



7/22 夏休み子ども教室工作①

指導者 福田和浩先生
粘土を使って動く人形や車を作りました。子どもたちの豊かな感性に驚かされました。



〈作品群〉

7/11 地区インテア力大会
会場：桜木小学校
参加者：約100名
プレーする人と応援する人の元気な声が、コートを飛び交いました。



結果

- 優勝チーム
- Aコート 市住 2A
- Bコート 城 2A
- Cコート 城 4B
- Dコート 市住 2B



シリーズ・紙上講座

学びにおいでよ

⑧民謡「幸之会」

講師 山崎 幸枝 先生



伴奏を入れた総合練習風景

写真 山崎先生

私たちが「幸之会」の会員12名は、「気持ちの若さを失わず、明るく、楽しく活動する」を合言葉に民謡活動に取り組んでいます。
本会の自慢は、三味線5名・尺八2名・太鼓1名の豪華な伴奏者に恵まれていることです。生演奏に助けられて民謡独特の抑揚・節回し等はクングン上達し、唄い手さんと伴奏者との息の合った唄い込みは、迫力さえも感じられるほどです。
毎年会員は、山口県民謡連盟が開く年2回の民謡コンクール大会にも積極的に参加し、優れた実績を残しています。我が国伝統の文化「民謡の醍醐味」を、心ゆくまで味わってみませんか。

真室川音頭 (ふりかき)

わかれし真室川の桜花
あはれに代彩のうらみ
花物と笑顔を待たぬ
つぼみうらみなら通て来る
(ハドントコイ)

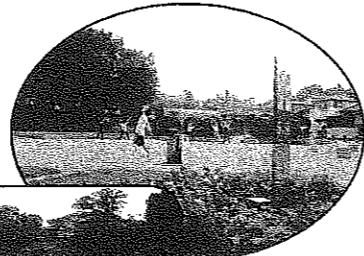
【開催日時】

第一・第三土曜日
午後一時～午後四時

7/1 ラジオ体操始まる

参加者 約40名
一年ぶりの再会に笑みがこぼれる

年間を通して活動されている城5ラジオ体操の会のメンバーが、7月1日から合流されました。



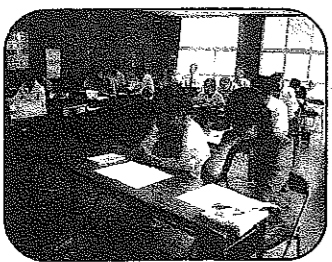
7/21 夏休み初日のラジオ体操 (約150名)
子どもたちの参加でふくれあがる。



7/7 周陽ブロック

人権教育推進協議会

(出席者 55名)



フィルム フォーラム
『えっ！これも人権』
様々な人権問題の事例が紹介されました。
三地区合同研修方式の見直しで、誰でも参加出来る各地区分散方式が検討されました。